

小栗旬さんが新生レグザの化身に 壮大な世界で「これが、リアルだ」と高らかに宣言

レグザ新CM『レグザの化身篇』 6月24日（金）より放映開始

～新高画質映像処理エンジン「レグザエンジンZRα」搭載の新モデルが創造する“リアル”を
視覚的に表現～

TVS REGZA株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役会長 兼 取締役社長：王雲利）は、3年ぶりに全面刷新した新高画質映像処理エンジン「レグザエンジンZRα」を搭載したレグザ最高峰モデル、タイムシフトマシン4K有機ELレグザ「X9900Lシリーズ」（65V型、55V型）、レグザ初Mini LED広色域量子ドット液晶パネルを搭載したタイムシフトマシン4K Mini LED液晶レグザ「Z875Lシリーズ」（75V型、65V）および「Z870Lシリーズ」（55V型）を6月3日より順次発売。夏商戦に合わせて、昨年に続き小栗旬さんをブランドキャラクターに起用した新CM「レグザの化身篇」を制作し、2022年6月24日（金）より全国で放映開始します。

本CMは、小栗旬さんが新生レグザの化身として登場し、「人間は何をリアルと感じるか」という問いに対する答えを視覚的に描き出すという内容です。SF感あふれる衣装に身を包んだ小栗旬さんが、重厚感たっぷりのドラマティックな映像と荘厳の音楽による壮大な世界の中で、新生レグザが作り上げる世界に対し「これが、リアルだ」と高らかに宣言します。



【CMストーリー（30秒）】

フードをかぶり、荒涼とした大地を歩く小栗旬さん。「人間は何をリアルと感じるか」という問いを投げかけた小栗さんが何かを思考するように目を閉じると、その顔にヒトの脳内の神経細胞を模したニューラルネットワークが浮かび上がります。次に、レグザの新高画質映像処理エンジン「レグザエンジンZRα」のイメージカットが登場。新エンジンが圧倒的な映像とサウンドの世界を構築する過程が映し出されていきます。

ビルが立ち並ぶ巨大都市の2D映像の前に立つ小栗さん。小栗さんがその映像に右手を向けると、平面だったそれが右手に押されるように立体的な情景へと変化し、やがて手を伸ばせば触れられるかのような質感まで再現した2D映像へと戻ります。これは、「テレビ自らが映像を空間として認識し、分解／再構築する」という、新レグザのテクノロジーを視覚的に表現したものです。

次に、水面に落ちた水滴の音に目をつぶってじっと耳を傾ける小栗さんの横顔に、水面に広がる波紋の反射光が音の波形のようにキラキラと光ります。まるで音の振動を肌で感じているかのような姿は、新レグザの「聴覚、人間の肌にまで届かせる音響」を表しています。

「その名は、REGZA」と口にした小栗さんがマントを翻すと、その姿は一瞬にしてレグザへと変わり、レグザの化身だったことが明らかになります。小栗さんは自らが創り上げた世界に対し「これが、リアルだ」と高らかに宣言。「人間は何をリアルと感じるか」の問いに答えを提示した小栗さんは、最後に再び登場すると、正面を見据えて「テレビかレグザか」と見る者に選択を迫ります。

新しいレグザと新エンジン「レグザエンジンZRα」を、レグザの化身である小栗さんの姿と、壮大な世界観で表現したCMとなっています。

【新TV-CM概要】

タイトル：レグザ新CM『レグザの化身篇』15秒/30秒

放送開始日：2022年6月24日（金）から全国にて放映

新CMスペシャルサイト、レグザ公式YouTubeチャンネルにてご覧いただけます。

（新CMスペシャルサイト） <https://www.regza.com/special-zr-alpha>

（レグザYouTube公式チャンネル） <https://www.youtube.com/user/REGZAchannel>

CMカット／撮影エピソード

【CMカット】



【撮影エピソード】

スタジオに出現した荒涼たる大地の巨大セットは、新生レグザの壮大な世界観を表現していました。“レグザの化身”である小栗さんは黒い衣装を身にまとい、スモークが立ち込める中、シリアスな表情で新レグザを演じました。撮影にあたって小栗さんは、監督とイメージを共有しつつ演技を行いました。特にCGパートの撮影では、仕上がりイメージを何度も確認しながらこなしました。壮大な世界観を演じる小栗さんに、制作スタッフも思わず「カッコいい！」と声を出してしまうほど。撮影は順調に進行しました。

【小栗旬さん ご挨拶コメント】

こんにちは、小栗旬です。今回開発期間3年をかけた「レグザエンジンZRd」が搭載され、レグザのリアリティや映像美、奥行き感が、さらに進化しました。CMでは僕が「レグザの化身」となって、圧倒的なスケールでレグザの魅力を表現しております。皆様ぜひご覧ください。

【小栗旬さん インタビュー】

Q.撮影を終えていかがですか？

非常に面白い撮影でした。いろいろ監督から世界観は説明してもらいながらやっているんですけど、やっぱりどういうあがりになるのか想像つかないような。いろいろ本当にCGも多く。今撮ってるいくつかのカットが、どういうふうに構成されていくのかなっていうのが、なかなか自分の想像を超えている世界なので、非常に出来上がるのが楽しみです、ひとつひとつの画が本当にものすごくきれいな画を撮られてたので、たぶん壮大な世界観が作られていくんじゃないかなと思っています。

Q.CMの見どころは？

見どころはやっぱり、レグザの持つ映像や音に対する世界観みたいなものを、最大限に伝えられるようなCM作りになっていると思うので、映像美、それから耳に届く音までひっくるめて、レグザの良さが伝わるものになったらうれしいなと思ってます。

Q.「レグザの化身」として、どんな方にレグザをおすすめされますか？

どんな方に・・・すべての人ですけどね。でも本当に映像も奥行き感もとてもすごいので、映画やスポーツがお好きな方にはオススメですし、音響もかなり迫力があるので、映像だけではない、本当にリアルな体験が待っていると思います。

【出演者プロフィール】

小栗 旬（おぐり しゅん）

1982年12月26日生まれ、東京都出身。O型。テレビドラマ・映画・舞台と幅広く活躍。

近年の主な出演作に、映画『罪の声』『新解釈・三國志』（20）『キャラクター』『ゴジラvsコング』、ドラマ『日本沈没－希望のひと－』（21）など。

現在放送中の NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で主演・北条義時を演じている。



製品情報

■タイムシフトマシン4K有機ELレグザ「X9900Lシリーズ」

3年ぶりに全面刷新した高画質映像処理エンジン「レグザエンジンZRd（読み方：ぜつとあーるあるふぁ）」を搭載したレグザ最高峰モデル、タイムシフトマシン4K有機ELレグザ「X9900Lシリーズ」（65V型、55V型）を6月3日に発売。

「レグザエンジンZRd」は、ディープニューラルネットワーク（DNN）のAIエンジンを搭載。リアルタイムでの高ビット精度の信号処理

と最新の超解像技術による「AI ナチュラル フォーカス テクノロジー」に対応し、その場にいるかのような臨場感、手を伸ばせば触れられるかのような質感を再現することを可能としました。このほか、「美肌AIフェイストーンZRα」、「ネット動画AIビューティZRα」「地デジAIビューティZRα」など、さまざまな高画質技術に対応し、レグザ史上最高画質を実現しています。

さらに、実用最大出力合計値90W、マルチアンプ駆動の「重低音立体音響システムXHR」を搭載。ハイレゾオーディオにも対応しました。また、放送済みの番組を過去番組表からすぐに楽しめる「タイムシフトマシン」など充実した機能を備えています。



■タイムシフトマシン4K Mini LED液晶レグザ「Z875L/Z870Lシリーズ」

レグザ初 Mini LED 広色域量子ドット液晶パネルを搭載したタイムシフトマシン 4K Mini LED 液晶レグザ「Z875L シリーズ」（75V 型、65V）および「Z870L シリーズ」（55V 型）を6月下旬に発売します。

本機は、多数のLEDを緻密に配置することで高輝度化を図るとともに、広色域量子ドットの採用により色鮮やかな高画質を実現。高度なバックライトエリアコントロールにより、高コントラストで鮮やかな映像を再現します。

さらに、Z875L シリーズには、3年ぶりに全面刷新した高画質映像処理エンジン「レグザエンジンZRα（読み方：ぜつとあーるあるふぁ）」を搭載。ディープニューラルネットワーク（DNN）のAIエンジンにより、その場にいるかのような臨場感、手を伸ばせば触れられるかのような質感を再現することを可能としました。このほか、「美肌AIフェイストーンZRα」、「ネット動画AIビューティZRα」、「地デジAIビューティZRα」など、さまざまな高画質技術に対応しています。

さらに、実用最大出力合計値70W、マルチアンプ駆動の「重低音立体音響システムZP」を搭載。新開発の7つのスピーカーを高出力のマルチアンプで駆動し、迫力のあるサウンドを奏でます。また、放送済みの番組を過去番組表からすぐに楽しめる「タイムシフトマシン」など充実した機能を備えています。

